

# 新年のご挨拶

社団法人 日本建材・住宅設備産業協会  
会長 木瀬 照雄



平成 22 年の新年にあたり、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は歴史的な政権交代や新型インフルエンザの流行など、例年にも増して変化や出来事の多い一年でした。

我が国経済に目を転じれば、企業収益は大幅に減少し、雇用・所得環境も改善の兆しが見えず、景気は厳しい状況のまま推移しました。

建材・住宅設備業界にとっても、住宅ローン減税の拡大など政府による景気対策の効果が期待されましたが、新設住宅着工戸数はかつてないほどの急激な落ち込みを記録し、増改築需要も低迷を続けるなど大変厳しい一年でした。

こうした環境のなか、日本建材・住宅設備産業協会では、建材・住宅設備機器の幅広い企業・団体が集まるメリットを生かし、業界を横断した新しい情報提供サービス、建材・住宅設備分野における環境への配慮、安全・安心、標準化の推進、景観材料の普及事業などに取り組んでまいりました。

新しい情報提供サービスは、昨年 10 月より建材と住宅設備のデジタルカタログを集め、簡単・便利に各社の商品・サービスを探し出すことのできるサイト「カタラボ」を正式にスタートし、おかげさまで多くのアクセスをいただいて順調なスタートをきることができました。

環境配慮については、省エネ建材・住宅設備機器の普及に向けた講演会などを実施し、また安心・安全については、住宅部品、設備機器、建具、収納等に使用される木質建材の「住宅部品 VOC 表示ガイドライン」の制定と運用に取り組んでまいりました。

このほかの事業では、昨年 3 月に開催された下請取引適正化推進会議での中間報告を踏まえ、当業界としても経済産業省が発表した「建材・住宅設備産業取引ガイドライン」の見直し及び周知徹底に協力していくことから、経済産業省の平成 21 年度中小企業取引適正化対策事業を受託し、ガイドライン改訂の提言をまとめているところであります。

本年の経済情勢もいましばらく厳しさが続くものと思われませんが、当協会としましては、建材・住宅設備機器業界の活性化や普及促進に向け、各種の課題解決に取り組み、国民の皆様の住生活の向上に貢献する協会運営を行ってまいります。そのために皆様方のご理解・ご協力、また関係省庁、関係団体のますますのご支援をいただきますようお願い申し上げます。最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。